



# 2022年3月期 第3四半期 決算補足説明資料

2022年2月



株式会社カクヤスグループ  
証券コード：7686

お客様のご要望に「なんでも」応えたい



# カクヤスグループは 2021年11月に創業100周年を迎えました

～これからも、よい、ひとときをお届けします～

100年もの永きにわたり事業を続けることができましたのは、お客様をはじめとするすべてのお取引先様、株主様、関係者様の皆様のご支援の賜物と考えております。  
今後とも、変わらぬ御支援と御愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

「カクヤスグループ創業100周年記念ウェブサイト」  
(2021年11月1日オープン)

<https://www.kakuyasu-group.co.jp/100th/>

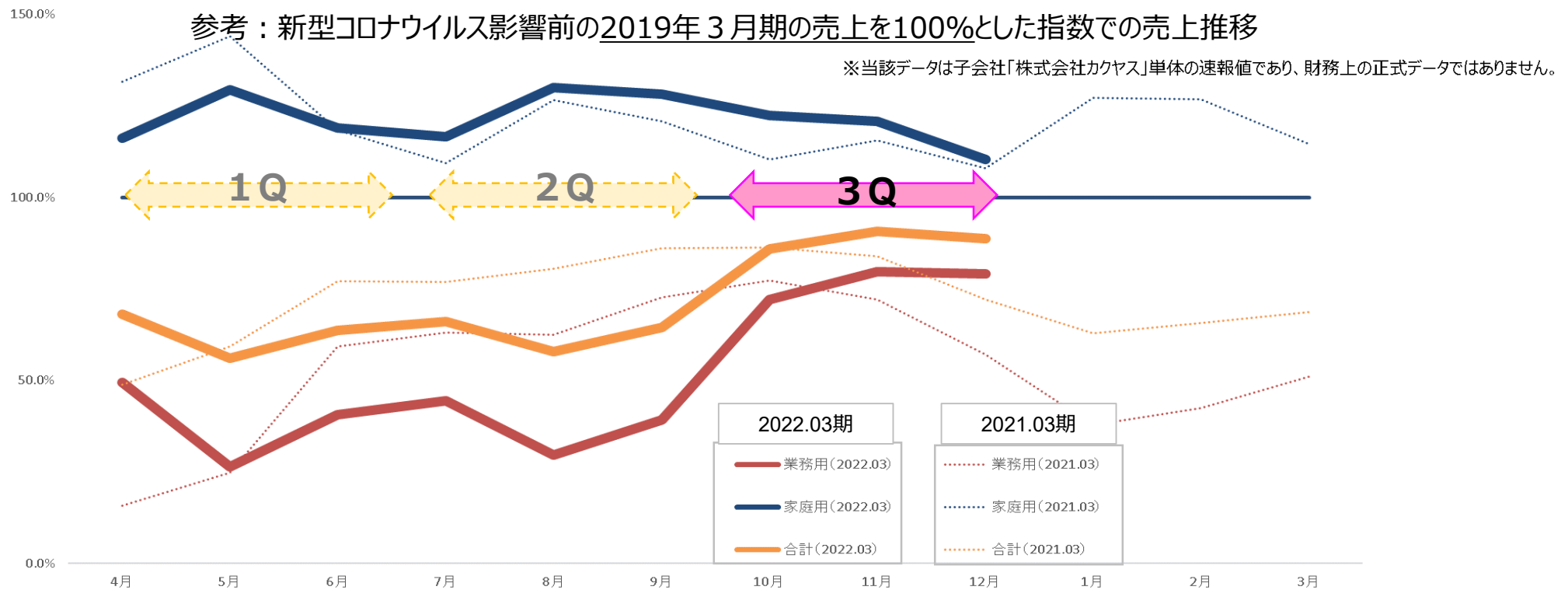




# 1. はじめに

## (新型コロナウイルスの影響-①)

- 4回目の緊急事態宣言（2021年7月12日～）が10月1日に解除され、**飲食店での酒類提供含む通常営業が可能となりました。**
- 当社の業務用売上は、得意先からの注文量が増加傾向となり、回復への兆しがみえておりましたが、12月後半より新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン株」が急拡大したことにより、先行きは依然として不透明な状況となっております。



【緊急事態宣言の時期】

第1回：20.4/7 - 20.5/25

第3回：21.4/25 - 21.6/20

第4回：21.7/12 - 21.9/30

第2回：21.1/8 - 21.3/21

# 1. はじめに

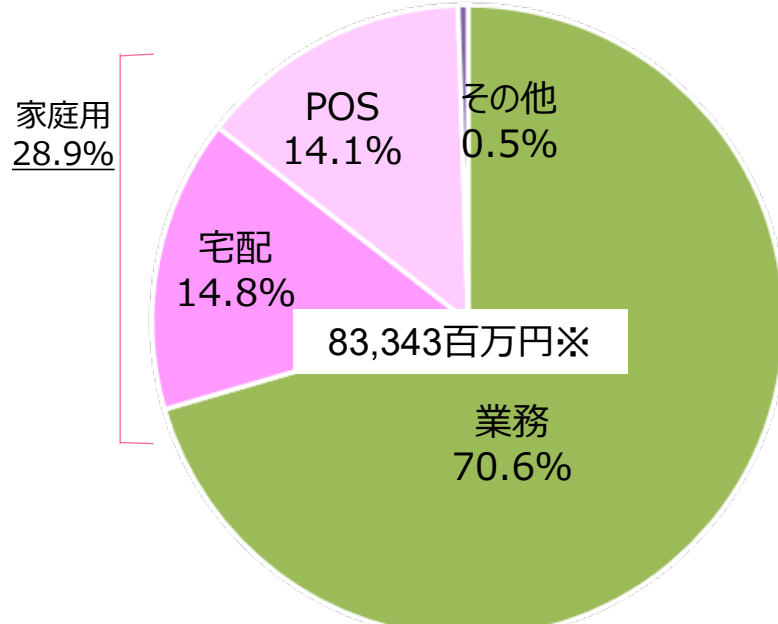
## (新型コロナウイルスの影響②)

- 緊急事態宣言が明け、第2四半期時点で46.1%だった業務用の構成比が53.0%（約+7pt）まで回復がみられました。
- 家庭用の売上においても、コロナ前での売上構成比28.9%（約240億）だったものが、当第3四半期においては45.6%（約290億）と引き続き好調を維持しております。

【コロナ前】

2019年3月期 3Q（累計）

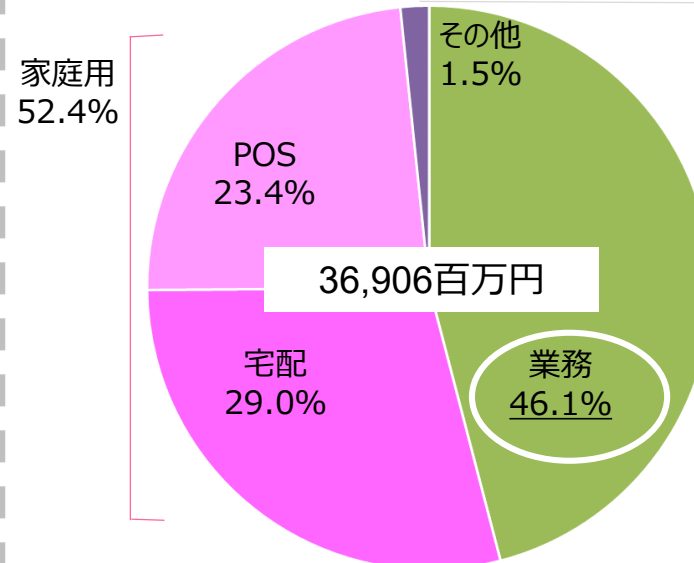
カクヤス社連結：参考値 ※



【当期】

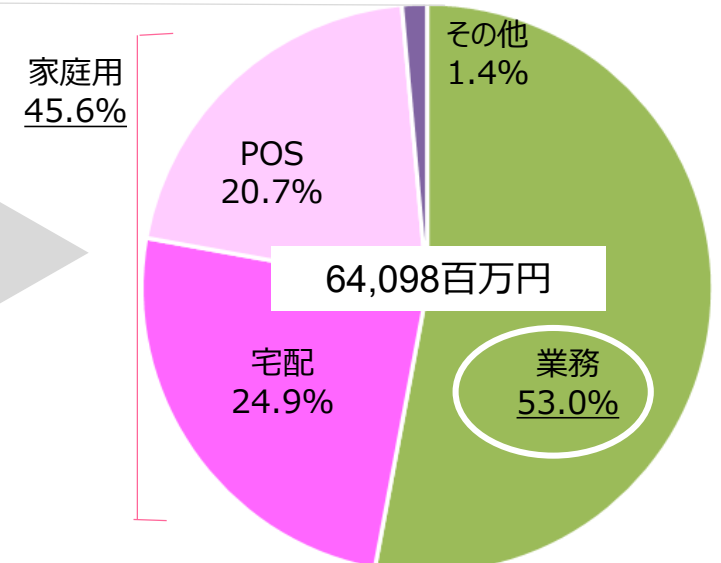
2022年3月期 2Q（累計）

2021.04-2021.09



2022年3月期 3Q（累計）

2021.04-2021.12



※2019年3月期第3四半期は金融商品取引法に基づく連結財務諸表は作成していません。

---

## 1. 第3四半期 決算概要

## 2. 第3四半期 事業報告

## 3. 今後について

## 2. 第3四半期 決算概要

### 連結 損益計算書 前期比較

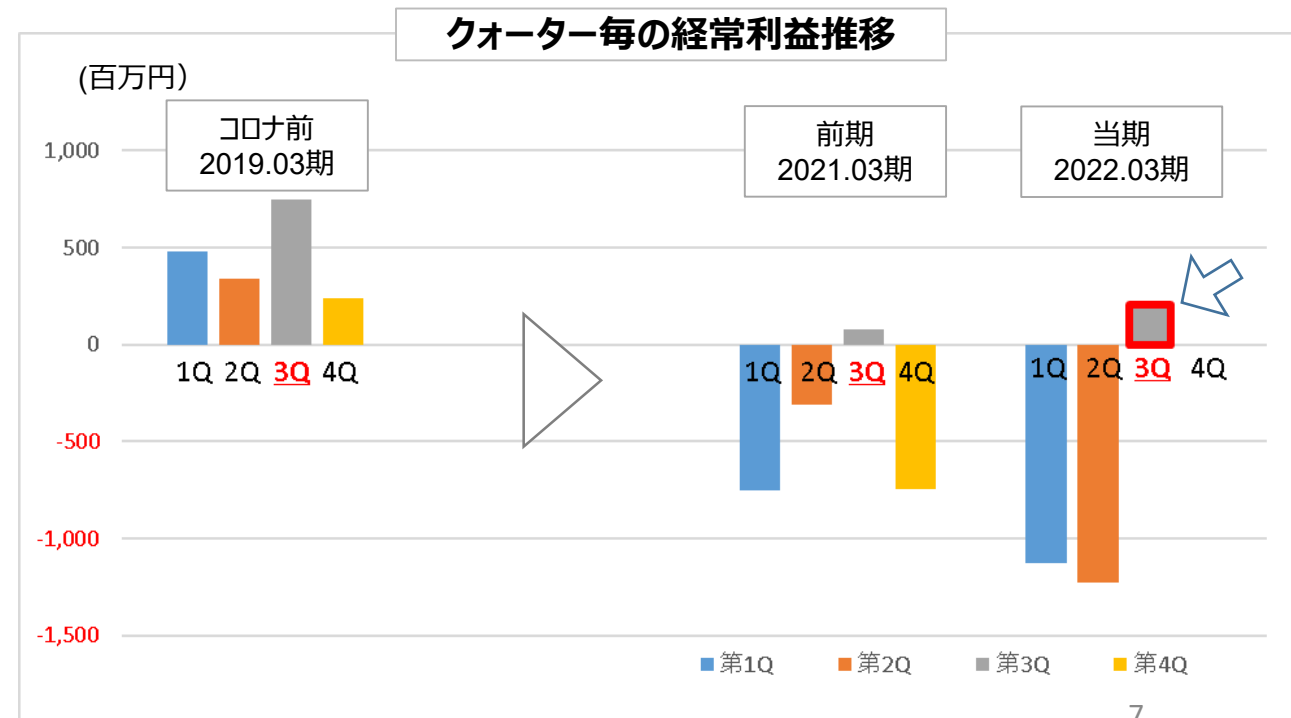
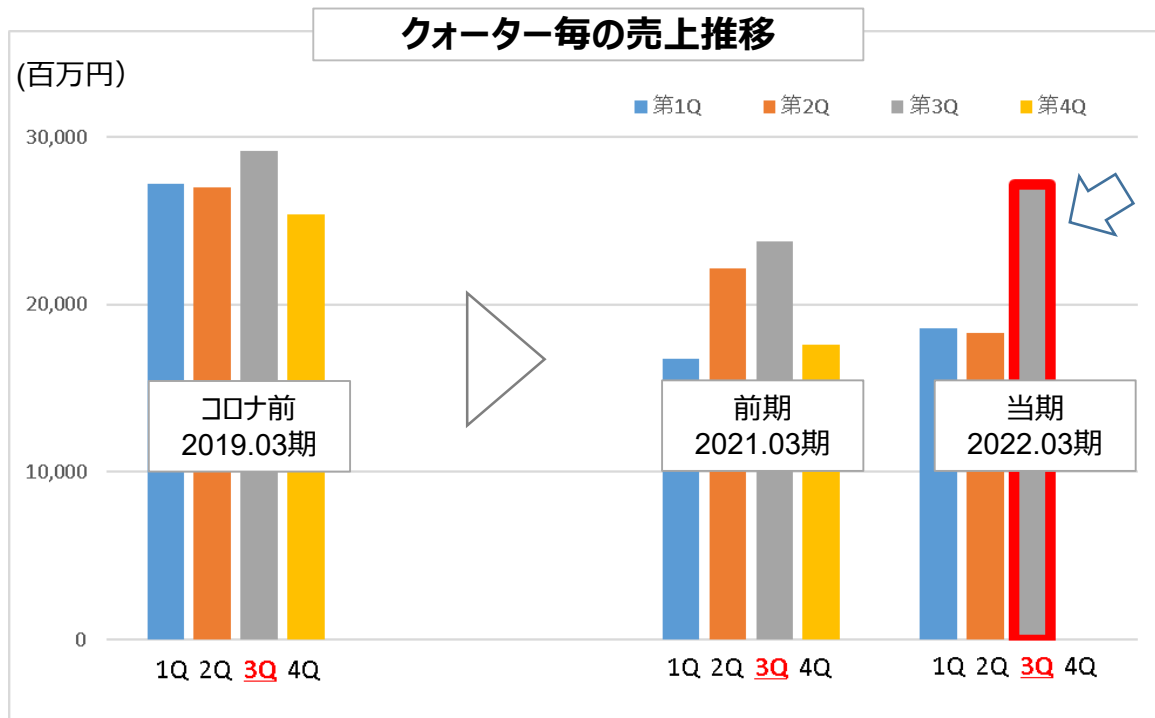
(単位：百万円)

科目名	2021年3月期 1~3Q	2022年3月期 1~3Q	増減額	増減率
売上高	62,660	64,098	1,437	2.3%
売上総利益	13,002	13,651	649	5.0%
	20.8%	21.3%		0.5pt
販売費および 一般管理費	14,441	16,224	1,783	12.3%
	23.0%	25.3%		2.3pt
営業利益（損失）	△1,438	△2,572	△1,133	-
	-	-		
経常利益（損失）	△985	△2,152	△1,167	-
	-	-		
親会社株主に帰属する 当期純利益（損失）	△992	△1,761	△769	-
	-	-		

## 2. 第3四半期 決算概要

### 連結 損益計算書 (クォーター毎)

- 当期において、第1・第2クォーターでは、緊急事態宣言下による飲食店等への時短要請・酒類の提供禁止等の制限にて、売上・利益減に至ったものの第3クォーターにおいては、緊急事態宣言解除により通常営業が可能となったことで売上は回復傾向となりました。
- 結果、第3クォーター単体での売上はコロナ前の8割程度まで回復し、さらに家庭用が好調なことで粗利率の増加もみられ、前年同期以上の経常利益の確保に至りました。



## 2. 第3四半期 決算概要

### 売上区分別の連結売上高 前期比較

(単位：百万円)

区分	2021年3月期 1～3Q	2022年3月期 1～3Q	増減額	増減率 (前年比)
業務	33,649	33,939	289	0.9% (100.9%)
宅配	14,893	15,956	1,063	7.1% (107.1%)
POS (POSレジでの取引売上)	13,925	13,289	△635	△4.6% (95.4%)
卸等	191	912	720	375.5% (475.5%)
計	62,660	64,098	1,437	2.3% (102.3%)

#### ■業務

客数 : 101.4%

客単価 : 99.4%

上期中、緊急事態宣言下の酒類提供制限の影響がありつつも、10月より緊急事態宣言が明け、件数・注文量が回復し、累計では前年同水準に至る。

【参考：2社売上（4月～12月）】

（サンノー社：約1,120百万、ダンガミ社：約2,615百万）

#### ■宅配

客数 : 109.9%

客単価 : 97.5%

新規会員数の増加等の影響で客数は好調を維持しつつも年末でのパーティーや、法人企業の納会等の盛り上がりは今年もなく、客単価は減少。

#### ■POS

客数 : 94.5%

客単価 : 100.9%

前期、第1回目の緊急事態宣言下、食材・備蓄品を目的とした来客が増加していた影響と、10月より緊急事態宣言が明け、外飲み（外食）への需要が増加したことで、顧客数減。

#### ■卸等

前年に完全子会社化した明和物産社の実績を取り込んだことで伸長。

<参考 | クォーター毎 売上区分別客数・単価推移 前期比較>

売上区分	客数・単価	2021.04～06	2021.07～09	2021.10～12	2022年3月期
		1Q	2Q	3Q	第3四半期累計
(業務)	客数	110.5%	85.6%	110.0%	101.4%
	客単	123.8%	75.4%	112.1%	99.4%
(宅配)	客数	100.5%	116.9%	106.3%	109.9%
	客単	99.7%	102.2%	95.8%	97.5%
(POS)	客数	86.1%	98.7%	92.6%	94.5%
	客単	100.0%	99.8%	101.6%	100.9%



## 2. 第3四半期 決算概要

### 販売管理費 前期比較（主要な増減項目）

（単位：百万円）

	2021年3月期 1～3Q	2022年3月期 1～3Q	増減額	増減率
人的コスト	8,669	<b>9,702</b>	1,032	11.9%
給与及び手当	6,835	<b>7,613</b>	<u>777</u>	11.4%
法定福利費	1,050	<b>1,157</b>	<u>106</u>	10.1%
採用費	51	<b>99</b>	47	91.9%
配送費	308	<b>319</b>	11	3.6%
マーケティングコスト	749	<b>925</b>	176	23.6%
広告宣伝費	66	<b>408</b>	<u>341</u>	511.6%
販売促進費	373	<b>185</b>	<u>△187</u>	△50.3%
その他コスト	5,022	<b>5,595</b>	573	11.4%
のれん償却費	23	<b>119</b>	<u>96</u>	410.2%
リース料	202	<b>288</b>	<u>86</u>	42.6%
賃借料	1,814	<b>1,900</b>	<u>86</u>	4.7%
消耗品費	207	<b>278</b>	71	34.4%
販売費及び一般管理費	14,441	<b>16,224</b>	1,783	12.3%

### 全体で1,783百万円の増加

（主要な項目 単位：百万円）

#### <増加した主なコスト>

- 給与及び手当、法定福利費
  - └ 子会社3社のM&Aによる給与の増加 676
- 広告宣伝費
  - └ テレビCMに係る広告宣伝費 325
- のれん償却 96
- 賃借料、リース料等 172
  - └ 子会社3社M&A、カクヤス店舗の出店による増加

#### <減少した主なコスト>

- 販売促進費 △259
  - └ 収益認識基準の対応(売上高控除)

## 2. 第3四半期 決算概要

### 営業利益以下 前期比較

(単位：百万円)

	2021年3月期 1～3Q	2022年3月期 1～3Q	増減額	増減率
営業利益（損益）	△1,438	△ <b>2,572</b>	△1,133	—
営業外収益	488	<b>495</b>	<u>7</u>	1.5%
営業外費用	35	<b>76</b>	<u>40</u>	114.5%
経常利益（損益）	△985	△ <b>2,152</b>	△1,167	—
特別利益	1	<b>49</b>	<u>47</u>	—
特別損失	61	<b>108</b>	<u>46</u>	75.1%
税引前利益（損益）	△1,046	△ <b>2,212</b>	△1,165	—
法人税等合計	△54	△ <b>450</b>	△396	—
当期純利益	△992	△ <b>1,761</b>	△769	—

### ■ 主な増減の内訳 (単位：百万円)

#### 【営業外収益】

- コロナによる雇用調整助成金等 7  
(参考：雇用調整助成金 前期375-当期421)

#### 【営業外費用】

- 支払利息の増加 17
- 第三者割当増資による新株発行費 9

#### 【特別利益】

- 投資有価証券売却益 48

#### 【特別損失】

- 減損損失（カクヤス店舗） 90
- 有価証券評価損（前期差） △45

#### 【法人税等合計】

- 法人税等調整額  
・繰越欠損金の計上等 △386

## 2. 第3四半期 決算概要

### 連結 貸借対照表 (主要な増減項目)

(単位：百万円)

(主要な項目 単位：百万円)

資産の部	2021年 3月期 期末	2022年 3月期 3Q末	増減額
<b>流動資産</b>	13,785	<b>20,117</b>	6,331
現金及び預金	2,525	<b>3,362</b>	837
受取手形及び売掛金	4,745	<b>8,407</b>	<u>3,661</u>
商品	3,610	<b>4,862</b>	<u>1,252</u>
未収入金	1,180	<b>1,952</b>	<u>772</u>
その他	1,750	<b>1,582</b>	△167
<b>固定資産</b>	13,208	<b>13,350</b>	141
有形固定資産	6,732	<b>7,240</b>	508
建物及び構築物	3,516	<b>3,908</b>	392
無形固定資産	2,357	<b>2,062</b>	△294
のれん	1,485	<b>1,365</b>	△119
リース資産	203	<b>72</b>	△131
投資その他	4,119	<b>4,046</b>	△72
繰延税金資産	833	<b>1,324</b>	491
長期前払費用	528	<b>54</b>	△474
<b>資産合計</b>	26,994	<b>33,467</b>	6,473

負債の部	2021年 3月期 期末	2022年 3月期 3Q末	増減額
<b>流動負債</b>	18,535	<b>24,717</b>	6,182
買掛金	10,079	<b>16,400</b>	<u>6,320</u>
短期借入金	5,614	<b>5,952</b>	<u>338</u>
リース債務	164	<b>44</b>	△120
その他	2,278	<b>2,064</b>	△213
<b>固定負債</b>	5,246	<b>5,385</b>	139
長期借入金	4,166	<b>4,339</b>	173
<b>負債合計</b>	23,781	<b>30,102</b>	6,321
資本金	379	<b>36</b>	△342
資本剰余金	638	<b>3,215</b>	2,577
利益剰余金	2,070	<b>22</b>	△2,048
<b>純資産合計</b>	3,212	<b>3,364</b>	151
<b>負債・純資産合計</b>	26,994	<b>33,467</b>	6,473

**資産** 前連結会計年度末比：6,473百万円増加

■受取手形及び売掛金	3,661
・業務用売上の増加による売掛金の増加	
■商品	1,494
・売上増加による商品確保	
■未収入金	970
・メーカーリベート等	

**負債** 前連結会計年度末比：6,321百万円増加

■買掛金	6,320
・緊急事態宣言解除による仕入れの増加	
■短期借入	338
・第三者割当増資によるコミットメントラインの返済(△1,377)	
・運転資金の借り入れ(1,877)	

**純資産** 前連結会計年度末比：151百万円増加  
自己資本比率10.1% (前期末11.9%)

・資本金の額の減少	△342
└ 第三者割当による増資(1/2)	1,109
└ 資本金の額の減資	△1,459
・資本剰余金の増加	2,577
└ 第三者割当による増資(1/2)	1,109
└ 資本金の額の減少による振替	1,459
・利益剰余金	△2,048
└ 当期純損失	△1,734
└ 配当	△286

※主要項目のみを抜粋記載しているため、縦計は合いません。

---

1. 第3四半期 決算概要

2. 第3四半期 事業報告

3. 今後について

## 2. 第3四半期 事業報告

### 業務用における活動（1）

#### 業務用小型倉庫の新設（三層物流“二層目”の構築）

- アfterコロナにおける業務用復調時の配達網整備のため、『即配型の業務用小型倉庫（SS）』を新設。
- 今期、第3四半期までに8拠点の開設を行い、来期上期中にて都内環状八号線内側での三層物流を完成予定。

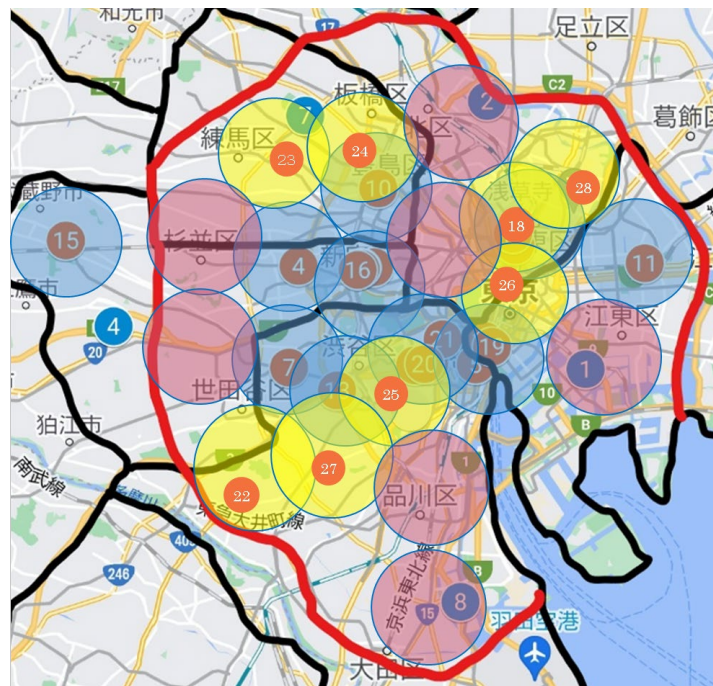
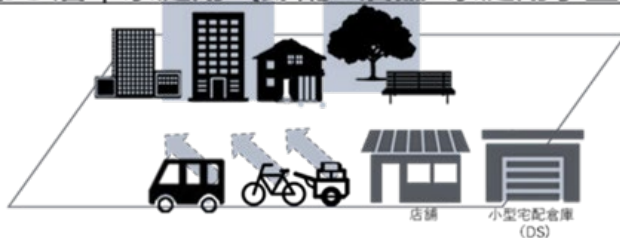
#### 第1層 | 業務用（ルート配送×業務用センター）



#### 第2層 | 業務用（即配×業務用小型倉庫）



#### 第3層 | 家庭用（即配×店舗・家庭用小型倉庫）



- 水色のエリア⇒既存のSS
- 黄色のエリア⇒今期開設したSS

- 18 上野仲町通りSS
- 22 世田谷玉堤SS
- 23 江古田SS
- 24 池袋SS
- 25 渋谷SS
- 26 内神田SS
- 27 目黒SS
- 28 浅草SS

- ピンクのエリア⇒今後開設予定エリア



## 2. 第3四半期 事業報告

### 業務用における活動（2）

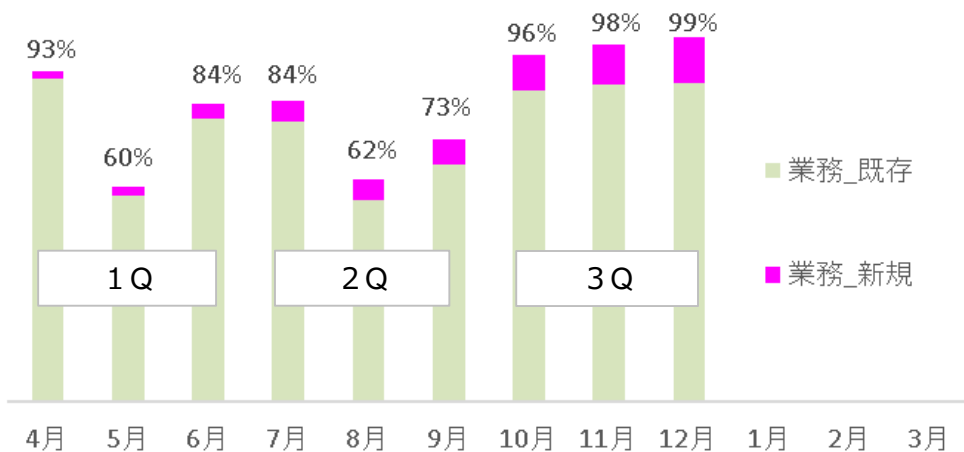
#### 新規顧客獲得に向けた取り組み

- コロナ禍で得意先飲食店からの注文量が減少している中、注文単価の減少を補うべく飲食店の新規獲得を強化しており、コロナ禍でも365日の配送サービス維持を強みに、コロナ前と同水準の獲得件数で推移しております。
- 酒類以外でも感染症対策用品や衛生用品等、コロナ禍での飲食店様のニーズに見合った商材を展開し、さらに既存の得意先に対し、お酒以外のプラスアルファでの商品やサービスを提案し、コロナ禍での単価アップを図っております。

#### 当期での業務用における稼働飲食店※1の状況 (新規※2 + 既存)

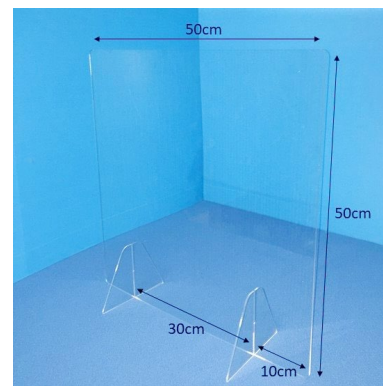
※1・稼働飲食店・当月に1回以上ご注文頂けた飲食店の件数  
(数値は、コロナ前の2019年3月期と比較)

※2・新規は2021年4月以降で新たに取引が始まった飲食店



#### 飲食店での感染対策用品

飛沫防止アクリル板



二酸化炭素  
濃度測定器



除菌用アルコール



ハンドスプレー



## 2. 第3四半期 事業報告

### 家庭用における活動（1）

#### 【家庭用向け宅配体制の強化】

- ①従来の店舗は三位一体モデル ※業務用・家庭用宅配・店頭（来店）の売上が約3分の1ずつ
- ②コロナ禍で業務用が減少する中、家庭用宅配が急伸。
- ③コロナ回復時に従来の業務用注文量が戻ると、増加した家庭用配送に支障をきたす。
- ④アフターコロナを見据え業務用小型倉庫(SS)を新設し、店舗での家庭用の配送能力を保持。
- ⑤店舗においては、更なる家庭用の商品軸を強化を図る。

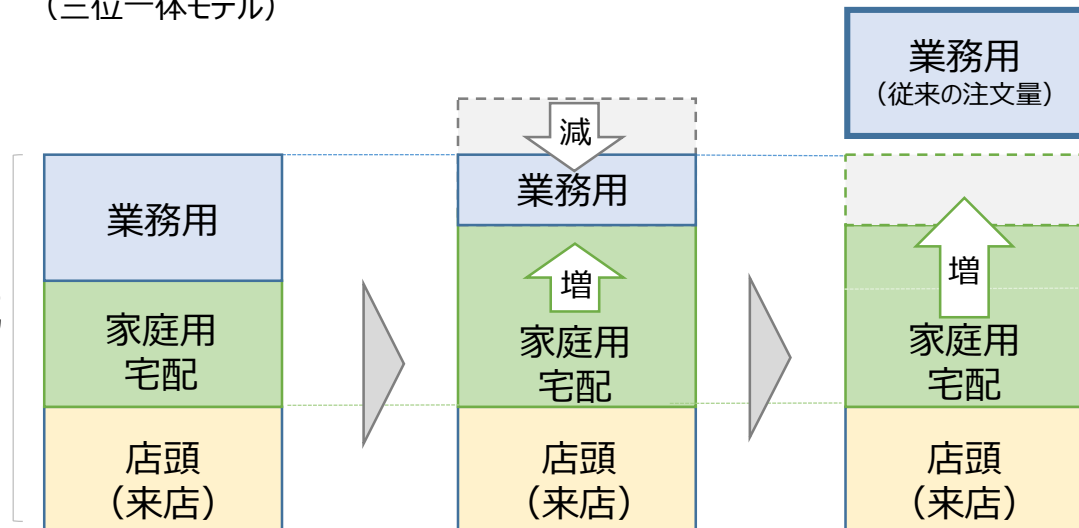


①コロナ前  
(三位一体モデル)

②コロナ禍

③アフターコロナ

店舗の  
売上構成



④業務用小型倉庫へ  
移管

業務用小型倉庫を増設  
(三層物流“二層目”の構築)

⑤更なる家庭用商品軸を強化

- 1) 商品ラインナップの強化
- 2) 「お取り寄せ品」リードタイムの縮小
- 3) 家庭用配送拠点 (DS)の新設

×

【販促】  
TVCM  
交通広告  
SNS等

【首都圏エリア“3,000SKUの即日配送”へ】

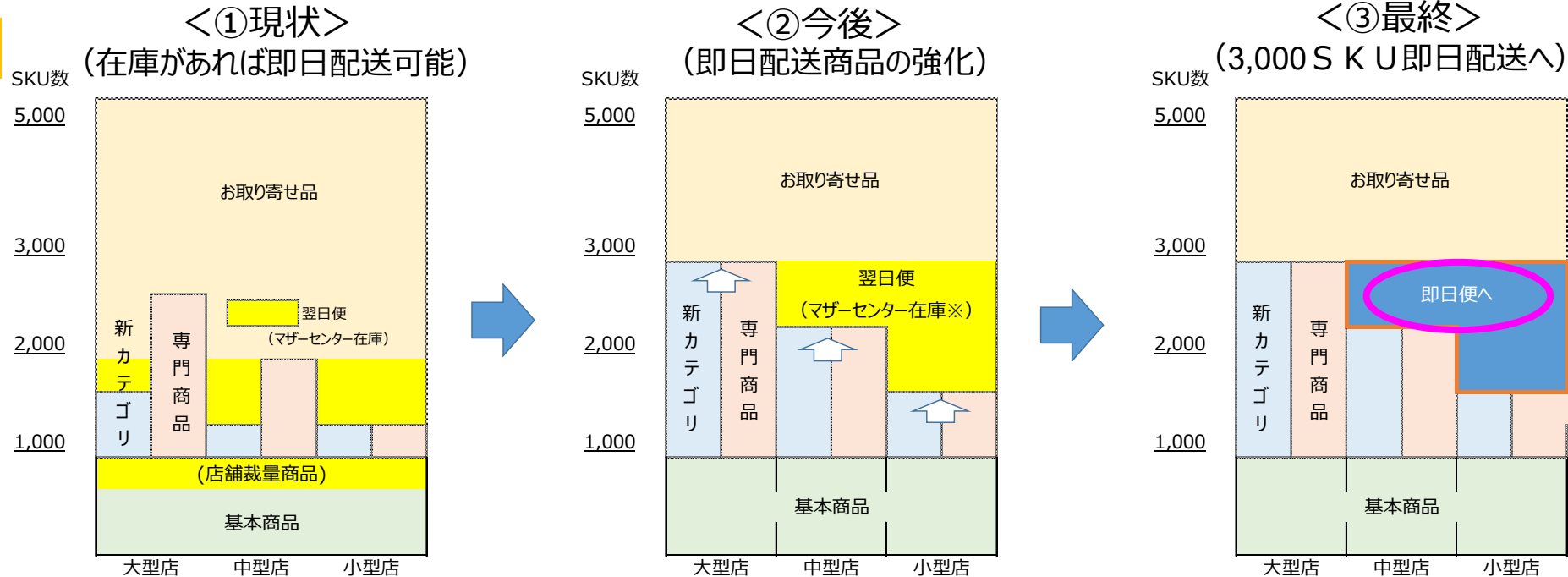
## 2. 第3四半期 事業報告

### 家庭用における活動（2）

#### 【家庭用向け宅配商品の品揃え】

- ①現状 | 「基本商品」は一律在庫をしつつ、それ以外の商品ラインナップに関しては、お店の大きさや地域性によって様々。
- ②今後 | **お店の業務用の商材がなくなったことで、家庭向けの売れ筋商品を見直し、品揃えを強化。**「基本商品」を見直したうえで、お店ごとに不揃いだった新カテゴリ商品（お客様の選択肢が広がる、例：ペット用品、生活用品等）や、専門的商品（従来ジャンルのこだわり品、例：米、おつまみ等）をお店の大きさに分けて一律ラインナップを図る。
- ③最終 | 上記トライアルで、お客様のニーズを掴み、最終的には**首都圏エリアでの『3,000SKU即日配送』**を目指しております。

#### イメージ



※・当社の社内物流センター

## 2. 第3四半期 事業報告

### 家庭用における活動（3）

#### 【お酒以外の商品の取り扱い】

- 「お届け」における家庭内需要の拡大を受けて、お酒以外での商品軸の強化。
- ラストワンマイルを持つ自社配送での強みを活かし、9月に実施したペット用品販売に加え、衣料用洗剤や大人用紙おむつ等の『生活用品』『介護用品』の取扱いと、一部商品の即日配送を10月6日より開始。

生活用品：約95点：取扱い商品：衣料用・台所用・住居洗剤  
介護用品：約100点：大人用紙パンツ、パッド、おしりふき、栄養補助食品等

- また、9月に首都圏で実施した「冷凍食品」の即日配送サービスを11月より大阪の一部エリアでも開始。

～11月1日より大阪市17区で販売開始、順次拡大予定～



詳細ページURL：

<https://www.kakuyasu.co.jp/store/app/news/feature/202110/newcategory/>



## 2. 第3四半期 事業報告

### 家庭用における活動（4）

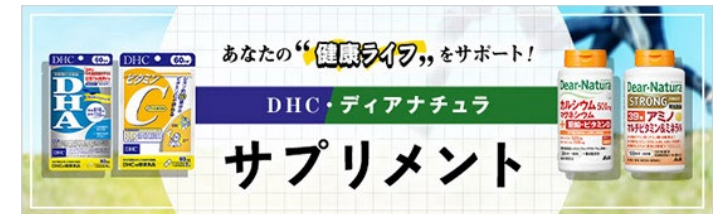
#### 【お取り寄せ品】リードタイムの縮小

- 当社のマザーセンターを活用し、店舗に在庫がない（お取り寄せ）商品を、最短翌日にご自宅へお届け。  
（店舗の在庫スペースにとらわれず、従来の酒類を始め、酒類に限らないアイテムの取扱いをさらに充実）
- 2021年11月より取り組み“最短翌日お届け”が可能になる商品は約2,000点へ。

<お届けまでのイメージ>



1. ご注文を頂く（例：11月1日10：30）お客様が商品を購入し、注文が入る
2. 商品を移動（例：11月2日）購入された商品を当社マザーセンター（※1）から店舗へ移動
3. 商品をお届け（例：11月2日13：00～14：00）商品が店舗に到着後、指定の時間帯でお客様へお届け





## 2. 第3四半期 事業報告

### 家庭用における活動（5）

#### 【家庭用配送拠点（DS）の新設】

- 家庭内消費の増加により、特定のエリアでは配送需要にお応えしきれない店舗が発生。
- 酒類に限らないアイテムのさらなる取り扱い充実に向けた『家庭用配送専門拠点(DS)』を新設。
- この出店により約3,000SKU程度（通常店舗平均1,800SKU）の商品アイテムからの即日配送が可能に。

#### 家庭用配送拠点（DS）の新設

OPEN	名称	場所
2021年7月	生麦DS	神奈川県鶴見区
2021年7月	八王子北野DS	東京都八王子市
2021年7月	桜丘DS	東京都世田谷区
2021年8月	調布菊野台DS	東京都調布市
2021年11月	中野DS	東京都中野区
2021年12月	馬込DS	東京都大田区
2021年12月	西糀谷DS	東京都大田区

#### 酒類以外の取り扱いの充実



#### 酒類以外の認知拡大に向けた販促



## 2. 第3四半期 事業報告

### 家庭用における活動（6）

#### 【交通広告／SNS等での販促】

- 23区内での家庭用宅配の認知拡大に向けて、テレビCMと併せて交通広告を実施
- また、巣籠り消費の拡大での家飲み需要をキャッチするために、SNS等を使ったマーケティングを実施



家に籠って酒浸るオタクの漫画  
#カクヤス #PR  
kakuyasu.co.jp



18:00 - 2021/11/29 - Twitter Web App



媒体名

動画媒体	車内	J R東日本／トレインチャンネル・全線セット・スポットCM
動画媒体	車内	J R東日本／まど上チャンネル（スポットCM）
動画媒体	駅貼り	J R東日本／J-A Dビジョン ステーションネットワークセット
ポスター	駅貼り	J R東日本／連貼り首都圏QR15
ポスター	駅貼り	東急／東急東横渋谷 ビッグ8



## 2. 第3四半期 事業報告

### 家庭用における活動（7）

#### 【新ブランドの出店／店舗改装】

- 日本全国・世界各国のお酒や食品を厳選（セレクト）した「お酒のカクヤス」の“提案型”の新業態「KAKUYASU SELECT」の1号店となるSOCOLA南行徳店を10月29日にオープン。（また、2号店目を「マチノマ大森」内に11月6日にオープン）
- 第3四半期（2021年10月～12月）にて5店舗の改装を実施し、改装実施店舗は合計19店舗となる。未改装店舗と比較し、その売上伸長は引き続き好調であることから今期中に4店舗の改装を予定し、今後も拡大方針。

千葉県「SOCOLA南行徳店」



「マチノマ大森店」



店舗改装の実績と今後の予定

済		済		済		予定	
8店舗		6店舗		5店舗		4店舗（仮）	
1Q		2Q		3Q		4Q	
駒込店		保土ヶ谷店		巢鴨店		大井町店	
宮前店		三鷹南口店		下北沢店		KYL恋ヶ窪店	
千駄木店		雪谷店		KYL新百合ヶ丘店		千歳台	
戸越銀座店		雑司ヶ谷店		目黒東山店		KYL南砂店	
新中野店		祖師ヶ谷大蔵店		KYL川口東領家			
都立大学店		白山店					
西池袋店							
石神井台店							

## 2. 第3四半期 事業報告

### その他

お客様により安心してカクヤスの配送サービスをご利用いただくために。

- お客様と従業員の「安心・安全」を確保するべく、『定期集団抗原定性検査パッケージ』※を導入
- 当社の全配送センター 9ヶ所や事業所を活用して約3,000名の配送業務を行う従業員を対象に2週間に1回順次実施
- 従業員やそのご家族はもちろん、お客様により安心して当社の配送サービスをご利用いただけることを目指しております。



飲食店の時短要請解除に向け、『定期集団抗原検査パッケージ』を提供開始！



※『定期集団抗原定性検査パッケージ』は、医師と看護師が出張して施設内で定期的に集団抗原定性検査を行う取組みで、「医療機関による陰性証明書」が発行されます。

---

1. 第3四半期 決算概要

2. 第3四半期 事業報告

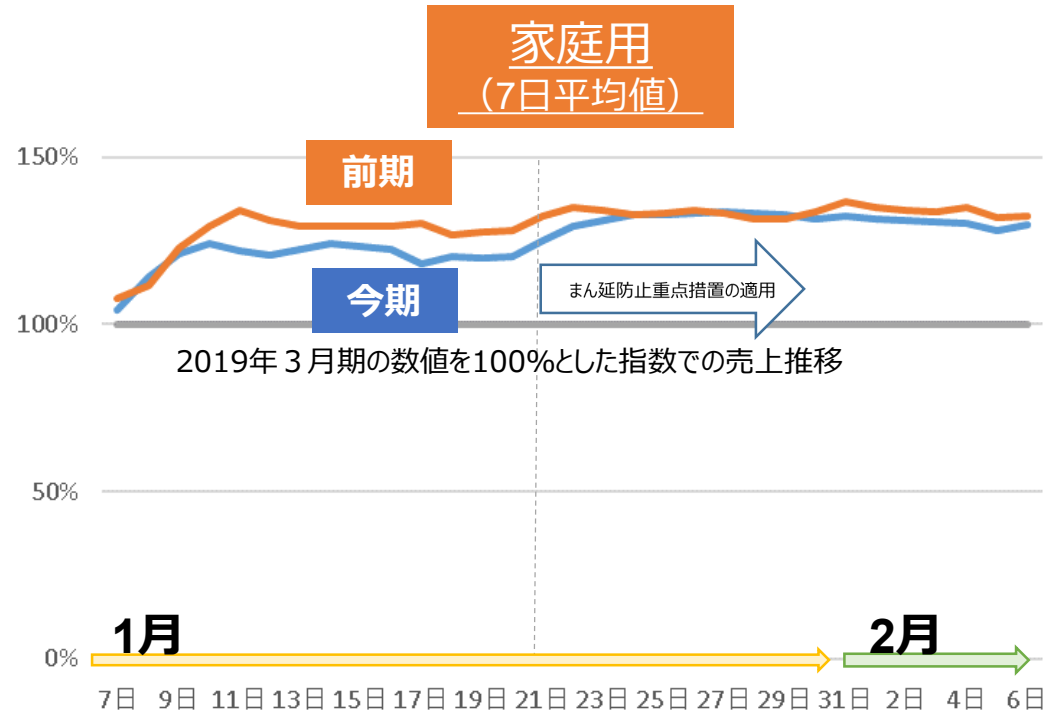
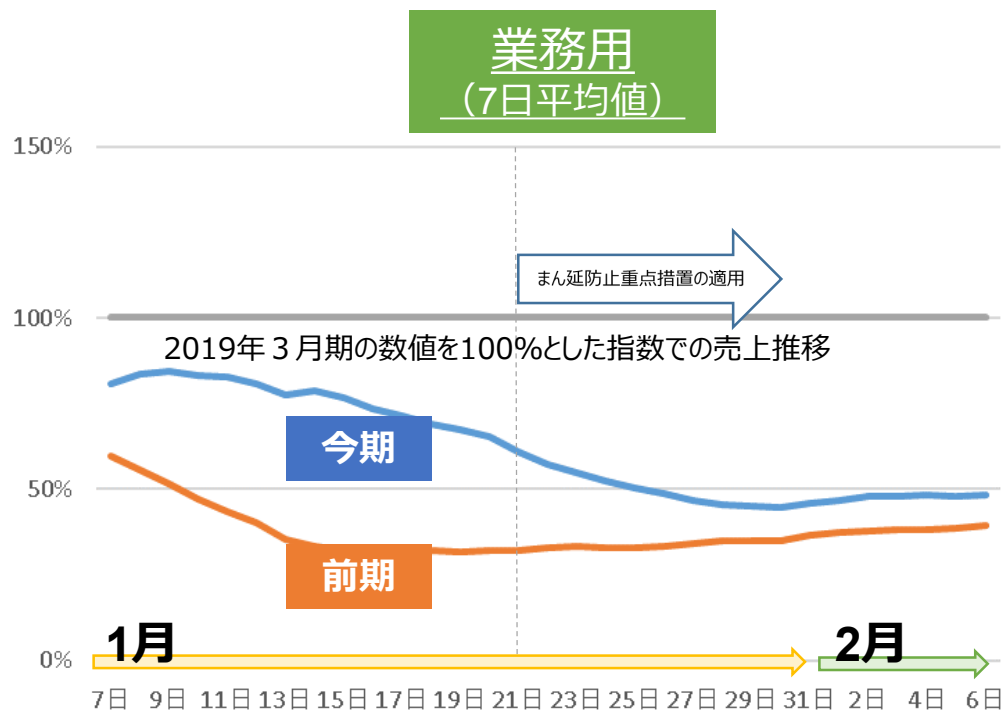
3. 今後について



# 3. 今後について

## ▶ 1月から2月の状況（オミクロン株の影響）

- 業務用は、新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」の感染急拡大により、東京都を含む各自治体で、まん延防止等重点措置の適用が検討され始めた1月中旬より減少に至り、緊急事態宣言下であった前年同期の水準まで落ち込んでおります。
- 一方で家庭用は、同措置に伴う飲食店での時短営業、酒類の提供禁止の影響もあってか、改めて家飲み需要が高まりつつあり、前年緊急事態宣言下で伸長していた水準まで戻りつつあります。



# 連結業績予想などの将来予測情報に関して（1）

- 2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年11月12日に公表いたしました。  
前述のとおり、**新型コロナウイルス感染症拡大による「緊急事態宣言」が10月に解除され、飲食店等における酒類提供時間制限が解禁となり、第3四半期連結会計期間の業績は営業利益及び経常利益を計上するまでに回復をいたしました。**
- しかしながら、**新型コロナウイルス変異株「オミクロン株」の急速な拡大により「まん延防止等重点措置」が再発出され、飲食店等の営業時間の短縮や酒類提供時間制限の要請が行われました。**  
これにより、休業する飲食店等が多く発生し業務用売上の苦戦がみられはじめ、更に東京都の同措置適用期間が延長されることを前提とし、2021年11月12日に公表いたしました2022年3月期の連結業績予想を修正させて頂きます。  
(2022年2月10日開示「2022年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」より)

# 連結業績予想などの将来予測情報に関して（2）

科目名	(百万円)	
	2021年11月12日 公表値	
売上高	91,819	
売上総利益	19,311	21.0%
販売費および 一般管理費	21,605	23.5%
営業利益（損失）	△2,294	—
経常利益（損失）	△1,886	—
親会社株主に帰属する 当期純利益（損失）	△1,566	—

(百万円)		
今回の修正値 (2022年2月10日公表)		
今回予想	増減額	増減率
86,882	△4,936	△5.4%
18,551	△759	△3.9%
21,584	△20	—
△3,031	△737	—
△2,603	△717	—
△2,055	△489	—

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

# 注意事項

本資料は当社についての情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却等の勧誘を目的としたものではありません。

投資に関する決定はご自身の判断において行っていただくようお願いいたします。

資料の内容については、現在入手可能な情報から説明しておりますが、事業環境が大きく変化することも考えられます。

従いまして、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを、あらかじめご承知おきください。

お問い合わせ先  
株式会社 カクヤスグループ I R室  
[ir@kakuyasu-group.co.jp](mailto:ir@kakuyasu-group.co.jp)

<https://www.kakuyasu-group.co.jp/>

---

# **APPENDIX**



# 拠点数

## (カクヤスグループ 拠点一覧)



	2021.03期	2022.03期			
	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
<b>(1) 業務用拠点</b>					
(株) カクヤス					
業務用センター	10	9	9	9	
業務用店舗 (kakuyasu class)	6	6	6	5	
業務用小型倉庫	14	15	17	23	
合計	30	30	32	37	0
(株) ダンガミ					
業務用センター	2	2	2	2	
業務用店舗 (酒のガリバー 等)	10	9	9	9	
業務用小型倉庫	-	1	1	1	
合計	12	12	12	12	0
サンノー (株)					
業務用店舗 (リカーズABC)	1	1	1	1	
<b>(2) 家庭用拠点</b>					
(株) カクヤス					
WEBセンター・社内物流センター (平和島)	2	2	2	2	
店舗1. (なんでも酒やカクヤス)	138	138	138	137	
店舗2. (KYリカー)	27	27	28	29	
店舗3. (KAKUYASU SELECT)				2	
店舗4. (CORK)	1	1	1	1	
小型倉庫	10	12	16	18	
合計	178	180	185	189	0
<b>(3) その他の拠点</b>					
明和物産 (株)					
小型倉庫	8	8	8	8	